

ハンケイ

5m

手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン

VOL.

7

FEATURE

ハンケイ5mショップ

京野朱莉 さん

京都障害者スポーツ振興会

中村芳道 さん



COVER ART OF HANKEI 5m

今号の表紙アート



「アトリエやっほー!!」吉田裕志さんの作品

京都市・伏見区の福祉施設「京都市ふしみ学園」のアート班として2008年に発足した「アトリエやっほー!!」。広々としたアトリエのいたるところに、所属作家による独創的な作品が飾られていて、のびのびと楽しい雰囲気が漂います。

このアート班の発足当初から創作活動をしている吉田裕志さんは、展覧会にも何度も参加する今注目の作家さんです。色鉛筆で描かれる、人物や動物、風景などの絵は、カラフルでやわらかい作風が魅力です。2023年2月には、京都市・中京区の「はあと・フレンズ・ストア」にて、世界の風景を描いた作品を集めた個展「てくてくわーどさんぽ」を開催。その中からニューヨークの地下鉄をテーマにした2作を、今号の表紙に使用しています。

2cmほどの短い色鉛筆を器用に使い、迷いなくググッと色を付けていく吉田さん。その真剣な眼差しからは、絵を描くことが大好きという思いが伝わってきます。福祉施設で一般的な箱折りや袋詰めなどの仕事と比べると、アートはすぐにお金にはなりにくいもの。それでも、ひたむきな創作活動は、見る人の心に響きます。今後、「ハンケイ5m」ショップでも展覧会を開催予定。吉田さんの色彩豊かで力強い作品をぜひ生で見てください。

アトリエやっほー!! ホームページ
http://atelieryooohoo.com



ハンケイ 5m vol.7

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

CONTENTS

表2……………ハンケイ5mショップ
4月～6月イベント開催情報

FEATURE 1

02……………京野朱莉さん
多様な価値観を発信する
ハンケイ5mショップ

FEATURE 2

06……………中村芳道さん
障がい者もスポーツを楽しめる場づくり
京都障害者スポーツ振興会

10……………俊朗の映画話
薬剤師DJの音楽論

11……………ホホホのすすめ
人形つかいパペの話

12……………ユニオン・エーのメディア紹介
ハンケイ5mオフィシャルサポーター

13……………ハンケイ5m vol.7 発行にあたり
RECOMMENDED CINEMA

ハンケイ5mショップ 4月～6月イベント開催情報

京都・四条烏丸にある、ハンケイ5mショップでは、
店内にてさまざまなイベントやワークショップを開催しています。
最新情報は各種SNSにて発信中! ぜひフォローしてください。



ハンケイ5mショップ
Instagram
@hankei_5m_shop



ハンケイ5mショップ公式LINE
オンラインショップ・入荷情報は
こちらをチェック!

ハンケイ5mショップ

京都市下京区烏丸通り四条下ル
からすま京都ホテル内1F
(京都市営地下鉄「四条駅」
南出口6番 徒歩1分、
阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分)
OPEN 月・水・金・土 11時～19時
TEL.080-8500-8236



5月

日本絵道 清水流 和の手紙 姫の会
和の手紙展覧会「姫たちの文化彩」
京都烏丸、高槻アトリエ教室展

4月29日(土)～5月29日(月) ※この期間に限り、日曜日もOPEN

日本各地に教室を持つ「日本絵道 清水流 和の手紙 姫の会」。その四条烏丸、高槻教室による展覧会を行います。和の手紙とは、絵と書で心を伝えるもの。掛け軸型の絵手紙など、季節を感じられる作品の数々をお楽しみください!



ワークショップ「姫たちのおあそび」&抹茶たて体験 内容:箸袋、しおりなどの和雑貨づくり

日時:5月7日(日)、17日(水)、21日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00
参加費:¥2,500 講師:杉山美津江先生

マインドチェンジカラーを知ろう!～色を変えれば人生が変わる～

日時:5月12日(金) 13:00～15:00 参加費:¥1,500(一人あたり15分)
※マインドチェンジカラーのマスククリップもプレゼント! 講師:高橋佐代子先生



カラーカード&抹茶たて体験

日時:5月20日(土) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00 参加費:¥3,000
講師:高橋佐代子先生

手相占い

日時:5月8日(月)、10日(水) 13:00～15:00
5月19日(金) 10:00～14:30
5月20日(土)、21日(日) 10:00～15:00
参加費:¥1,500(一人あたり15分) + ¥1,100(延長10分)
占い師:武田萌祐先生



6月

着付おとは
和装関連グッズ販売
6月2日(金)～6月30日(金)

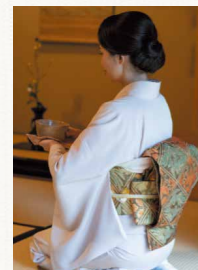
6月は、出張着付けや着付け教室、コーディネート提案などを通して、着物を着る喜びを届ける「着付おとは」とのコラボフェアです。店内には、帯留やかんざしなど和装関連グッズが並びます。縫わずに簡単にできるおしゃれな帛紗づくりのワークショップや、洋服・着物別のお茶会参加時のマナー講座も行います。

縫わない帛紗作り・懐紙の使い方講座&抹茶たて体験

日時:6月7日(水) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00
参加費:¥6,500
講師:帛紗づくり 田端のり子先生/懐紙のマナー おとは先生

一日完結茶道マナー講座&抹茶たて体験(生和菓子つき)
～また来てほしいと思ってもらえるお客様になるために～

日時:6月24日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00
参加費:¥6,000
講師:茶道マナー 田中賀鶴代先生/着物マナー おとは先生



ワークショップ等、すべてのイベントにつきまして、金額はすべて税込です。ご予約のお客様優先でご案内させていただきます。ご予約は当店に直接またはお電話にて承っております!

多様な価値観を
発信する実店舗
「ハンケイ5mショップ」
運営管理者
きょうのあかり
京野朱莉さん

FEATURE 1



「マイノリティに関する問題は、多岐にわたります。
どの問題も、まずは知ることが大事」

京都市中心部の四条烏丸、からすま京都ホテル一階にある「ハンケイ5mショップ」。店内には、障がい者福祉施設でアーティストと利用者が一緒に制作したアート作品をはじめ、本誌『ハンケイ5m』が掲げる「多様な価値観に触れる」という視点で選んだ幅広いプロダクトが展示販売されている。

2023年1月にオープン周年を迎えた同店は、これまでに、車いすでも楽しめる抹茶体験やアーティストとのコラボ展など、様々なイベントを開催してきた。原点にあるのは「障がいがある人たちが、社会に出るための接点を作りたい」という思いだ。運営管理者を務めている京野朱莉さんに、これからの「ハンケイ5mショップ」が目指すものと、取り組みにかける思いを聞いた。

——「ハンケイ5mショップ」は、本誌『ハンケイ5m』のスペシャルアドバイザーでもある株式会社アドナースが運営するアンテナショップです。個性豊かなプロダクトを通して、障がいがあるアーティストの魅力を発信しています。京野さんは昨

年11月から、運営管理者として「ハンケイ5mショップ」に携わっていらっしゃるそうですね。

はい、「この場所をもっと盛り上げていくために、自分がやりたいことを実現していい」と言われ、まだ入社2年目なのですが、運営管理者を務めることになりました。それまではアドナースの放課後デイサービスで、子どもたちの支援や音楽療法師の補助を担当していました。

私自身、子どもの頃から音楽が大好きだったんです。5歳でピアノを始めて以来、音楽が人生の軸にありました。中学と高校では吹奏楽部に入って打楽器を、大学では軽音サークルでドラムを担当していました。

高校生のときに、音楽療法師の存在を知ったんです。病気や障がいを抱えている人に音楽でアプローチして、その人の力を引き出す仕事です。

私も、音楽があったから表現できたことがたくさんあり、音楽をやっている自分がすごく好きだった。「素敵な職業があるんだな」と憧れを抱きました。

大学4年生で就職活動を迎えた時



障がい福祉の現場で働いている私たちだからこそ、 伝えられることがある



に新型コロナウイルスが大流行し、企業の面接が途絶えた時期がありました。その時に友人に誘われて参加した就活ワークショップを通して、「音楽療法師がいる職場が京都市内にある！」と発見したんです。それがアドナースでした。早速電話で連絡し「音楽療法師のそばで仕事を経験したい」と伝え、アルバイトとして働くことを快諾してもらいました。

音楽療法師の演奏を聞くと、いつも寝ている子が起きたり、不慣れな子もタンバリンを振ってみたり。実際の現場は子どもたちのパワーにあふれていました。重度の障がいがあっても、何度も音楽を繰り返すことで変わっていく姿を目の当たりにし、「障がいがある子どもたちの可能性」を改めて感じました。

それまでは、自分が支援を「してあげる」のが仕事だと思っていたのですが、実際は逆でした。打楽器の使い方ひとつでも「そんな鳴らし方できるの!？」と、子どもたちから学びや発見をもらうこともたくさんあります。

——まさに、『ハンケイ5m』が誌面やショップを通して発信している「多様な価値観に触れる」というテーマを体現されているようなエピソード

ドだと感じます。福祉や支援をめぐ
る関係性をはじめ、マイノリティに
対する考えが柔軟に変化する。そん
なきっかけを、『ハンケイ5m』を通
して広げていけると嬉しいですね。

大学では現代社会学部に在籍し、
経済や法律、貧困や民族の問題など
幅広い分野に関して学んでいまし
た。その中でフィールドワークとし
て、北海道の先住民族であるアイヌ
をよく知る現地の方々を訪ねる機会
があったんです。差別や偏見を受け
た少数民族が、実際は日本の国際交
易における重要な役目を果たしてい

たという歴史を学び、自分が知らな
い問題が社会にはたくさんあるのだ
と再認識しました。

社会的弱者という立場。マイノリ
ティを取り巻く問題について大学で
学んだことが、福祉の道を選んだ大
きなきっかけとなっているかもしれ
ません。

ジェンダーや貧困、SDGsや
LGBTQ(性的少数者)など、マイ
ノリティに関連する問題は多岐にわ
たります。でも、どの問題について
も、まずは当事者の気持ちや、過去
にどんなことがあり、現在どんな状
況であるのかを知ることが大事だと

思います。そんな情報がなければ、
その問題について考えることもでき
ないと思うのです。

——「ハンケイ5mショップ」とい
うリアルな空間で、実際にプロダク
トを手にとってもらうことで、さら
に伝わる思いがあると思います。『ハ
ンケイ5m』の誌面でも、ひとりひ
とりの世界が広がっていくような情
報を届け続けたいです。

ありがとうございます！ 私自
身、アドナースに入社し、障がい
がある子どもたちと実際に関わる中
で、支援や福祉についての考え方が
大きく変わりました。だからこそ、
社会の中には「障がい者だから働け
ない」という意識がいまだに根強く
あるという前提で、私たちにできる
ことを考えたいと思っています。

障がい福祉の現場で働いている私
たちだからこそ、伝えられることが
あると思っています。「支援者が、当
事者から学ぶことの方が多いんだ」
「障がいがあるうとならうと、誰も
が自分らしく働いて、生きていくこ
とができるんだ」。アート作品やプ
ロダクトを紹介することで、そんな
メッセージを「ハンケイ5mショッ
プ」から発信していきたいです。



「自分自身の可能性が広がり、生きる世界が広がっていく。『スポーツは生きる力』です」

障がいの種類や程度、年齢に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができる社会を築きたい。そんな理念の下、中村芳道さんが事務局長を務める一般社団法人・京都障害者スポーツ振興会は、京都府下で半世紀以上にわたって活動している。その歩みは、1971年10月10日の京都府立体育館の開設をきっかけに始まった。以来、たくさんの人たちがスポーツと出会う機会を提供し続けている。

パラリンピックなどトップレベルを争う競技選手だけでなく、スポーツが未経験、運動が苦手だと感じている人など、幅広い層に開かれたスポーツの場を提供したい――。中村さんたちは「スキルの高度化」と「スポーツの大衆化」という2つの柱を掲げ、多種多様なスポーツの普及活動に取り組んでいる。

「障がいがある人にとって、『スポーツは生きる力』です。スポーツと出会ったことで人生が変わる。自分自身の可能性が広がり、生きる世界

が広がっていく。私たちは、それを支えたいのです」。

「障がい者スポーツ」始まりの一步

「1964年の東京五輪まで、障がい者スポーツに関する取り組みは、まだ何もないに等しい状態でした。当時のパラリンピックを通して、『障がいのある人も、スポーツをできるのか』と初めて知った人がほとんどだった」と、中村さんは言う。

東京五輪を契機として、全国各地で障がい者スポーツの取り組みが徐々に広がっていく。京都では1971年に、障がい児者の団体や障がい者施設、盲・聾・養護学校など14団体が集まり、「全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会」（京都障害者スポーツ振興会の前身）が発足。同年に開館した京都府立体育館が掲げる「全ての府民を対象とする体育館」の実現を目指して、「障がいの有無や年齢に関わらないスポーツ」への取り組みが手探りで始まった。



FEATURE 2

障がいがあっても気軽にスポーツを楽しめる場づくりを行う
京都障害者スポーツ振興会
事務局長
中村芳道さん

芝田徳造さんとの出会い

「京都での普及には、洛北高校の体育教諭を務めていた芝田徳造^{しばたとくぞう}さんの存在があります」。中村さんにも多大な影響を与えた人物だ。

1970年代当時、連絡協議会にも所属していた芝田さんは、まず、参加団体に声をかけ、障がいがある人や指導者が集まる「心身障害者スポーツの集い」を府立体育館で開催。中村さんが障がい者スポーツに本格的に携わるようになったきっかけは、この集いだった。

「京都で一番大きい府立体育館



スポーツは本来、誰にとっても楽しいものであるべき

で、子どもから大人まで、参加者も指導者と一緒にスポーツを楽しんでおられた。見学だけのつもりで行ったのですが、気づけば私も一緒にスポーツに参加していました」。以降、中村さんもボランティアとして運営を手伝うようになる。

何もないところから「心身障害者

スポーツの集い」を立ち上げ、障がい者スポーツの普及にありつたけの情熱を傾ける芝田さん。その姿は、支援学校の駆け出し教員だった中村さんにとって道標のような存在だった。

さらに、芝田さんは京都府内を巡回するスポーツ体験教室も企画し、

府立体育館から遠く離れた地域に向いて障がい者スポーツの裾野を広げていった。同時に「もっと専門的にスポーツをやりたい」という人たちの要望にも応えようと、車いすの陸上競技や水泳などの競技選手を育成、大会出場などの活動を支えた。

「芝田さんをはじめ先人の熱意があ

り、京都障害者スポーツ振興会は一年50周年を迎え、息の長い取り組みを続けてこれたのです」と、中村さんは語る。

「体を動かす」という営み

芝田さんと出会うまでの、中村さんの活動を遡れば、紆余曲折がある。

天理大学体育学部を卒業後、中村さんは講師として京都市内の支援学校に勤務する。そこで、自分がこれまで知っていた体育と、障がいがある子どもたちの体育との違いに触れて「ものすごいカルチャーショックを受けた」という。

「トランポリンを使った授業でも、重度の身体障がいがある生徒さんは飛び跳ねるのではなく、トランポリンの上に寝そべっているんです。そして、手や足を少しでも動かせたら、生徒も指導者もみんな喜び合う。それまで大学で教わっていた競技ス

ポーツの指導とは全く違う世界だと感じました。『ほんのちよつとしたことを共に喜び合う』という素敵な人間関係に惹かれました」。

スポーツの根源にある「体を動かす」という行為の奥深さ。それに触れた中村さんは、支援学校の教員を志すことに決める。

中村さんは、芝田さんが設立した「全国障害児体育研究連絡協議会」にも参加し、障がいがある子どもたちの体育指導について、京都をはじめ、大阪や東京など各地の指導者とともに研鑽を積んだ。

芝田さんから「支援学校での体育の授業は、障がいのある人が若くて体力がある時期に、関わっていることを忘れないように」と、よく言われたという中村さん。

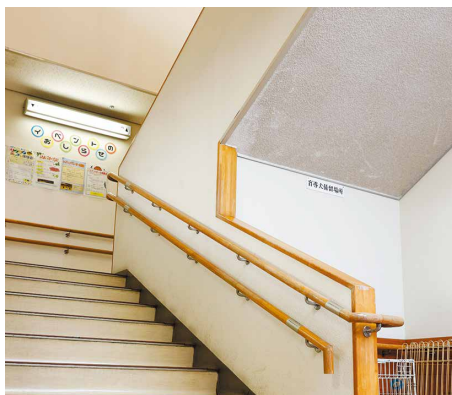
「芝田先生に『学校を卒業してからの方が、人生は長い。体力も気力も落ちていく。君たちはそれをわかっているか!』と言われて、目から鱗でした。支援学校の教員としてだけでなく、生徒たちの一生に関わる中で自分は何をなすべきか。体育やスポーツの授業を通して何ができるか。そのことを、深く考えるようになりました」と振り返る。

「誰もがヒーローになれる」スポーツ

中村さんは支援学校を定年退職するまで、約40年にわたって障害者スポーツ振興会にボランティアとして関わってきた。水泳、陸上競技、卓球、車いすバスケットなど、多種多様な障がい者スポーツの普及活動に取り組み、実際に体験した。そして「障がいのあるなしに関わらず、スポーツは本来、誰にとっても楽しいものであるべきだ」という思いは一層強まった。

なかでも、バラスポーツ「ポッチャ」と出会い、中村さんは「誰もがヒーローになれる可能性がある」と感じた。「ポッチャは障がいの有無に関係なく、老若男女がハンデなしで本気でぶつかることができるスポーツ。それが魅力なんです。こんなスポーツ、他にはない」。近年、企業の協力も受けながら普及活動に力注いでいる。

病気や事故で障がいを負った人にとっても、スポーツの持つ力は大きい。中村さんは、障がいがあっても人生を諦めることなく、スポーツをきっかけに自力で人生の可能性を広げた人たちに、たくさん出会ってきた。「スポーツが『生きる希望』につながり、その後の人生を変えていく転機になり得る」。中村さんは、そう確信している。



俊朗の映画話

年間100本映画を見る
俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そばこまちに入団、15年間に籍しフリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

自分とは一体何者なのか。得意なこと好きなもの、誰と一緒にいると居心地がいいのか、趣味嗜好や存在意義に至るまで、自分のことはいつまでたってもわからないものです。そしてそれらはその時々によって変わったりするのでさらにタチが悪い。多分大人になるということはその追求を諦めてしまうことなのかもしれない。

主人公はロシアに留学しているフィンランド人で、同性の大学教授の恋人がいます。もうこの時点で彼女はかなりの少数派です。彼女は恋人やまわりの知識人たちと肩を並べようと必死に生きていますが、なかなか馴染めず、しかもその恋人にまで裏切られて一人旅に出ることになります。そこで出会うのが国も品性も考え方も全く違う（と感じている）労働者男性。もはや彼女の孤独感ばかり知れません。

しかしこの2人は互いに好意を抱くようになります。それは孤独を埋めるための一時的なものでしょうか？否。彼女は彼との関わりにおいて自身を見つめることになります。自分にとって重要だと思っていたものが全然そうでなかったり、逆もまた然り。恋人との知性を伴いながらも空虚な会話と、この2人の言葉足らずな、しかし心からの会話との対比によって、生きる上で一番大切なことは何かを考えさせられました。そして主人公2人の幸せを願わずにはいられなくなる、そんな映画でした。



コンパートメント No.6

2021 / フィンランド・ロシア・エストニア・ドイツ / 107分
監督: ユホ・クオスマネン
出演: セイディ・ハーラ ユーリー・ポリゾフ ディナーラ・ドルカーロワ
©2021 - AAMU FILM COMPANY, ACHTUNG PANDA!, AMRION PRODUCTION, CTB FILM PRODUCTION

薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴（キャッチー船戸）

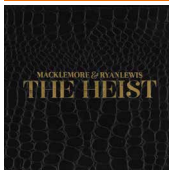
ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご：みゅ〜じゅ〜ばふえCatchy（水曜12時〜）。FMまいづる、Radio Mix Kyoto：Premium Kyoto（月曜16時〜）。

今回は、元来マチズモ（男性優位主義）とホモフォビア（同性愛嫌悪）の傾向が色濃く残っていたUSヒップホップの価値観を大きく変化させた2012年発表の2作をご紹介します。

2012年はオバマ大統領がアメリカの大統領としてはじめて同性婚への支持を表明した年。その流れを受けて男性ヒップホップシンガーのフランク・オーシャンがアルバム『Channel Orange』を発表に併せて、自身の初恋の相手が男性である事をカミングアウトしました。あえて人称をぼかし、ジェンダーとセクシャリティを揺さぶり、音楽のジャンルをまたぎ、繊細なラヴ・ソングを次々と繰り出していくこの作品は大きな話題となり大ヒット。グラミー賞で主要3部門を含む6部門にノミネートされ、アーバン・コンテンポラリー・アルバム賞とラップ／サング・コラボレーション賞を受賞しています。



フランク・オーシャン
アルバム
『channel ORANGE』
ISLAN



マックルモア&
ライアン・ルイス
アルバム
『THE HEIST』
ADAGL

そして同年、マックルモア&ライアン・ルイスが『Same Love』をリリース。「もし俺がゲイだったら、ヒップホップに嫌われていただろう」というラップで始まるこの曲では、これまでの業界の体質を真正面から批判し、「どんな愛も等しく尊いものである」というメッセージが高らかに歌われました。彼らもグラミー賞で4部門（最優秀新人賞、ラップ楽曲賞、ラップ・アルバム賞、ラップ・パフォーマンス賞）を受賞しています。現行ヒップホップの多様性の節となったこの2作品、是非聴いてみて下さい！

ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が
語るおすすめブックス談



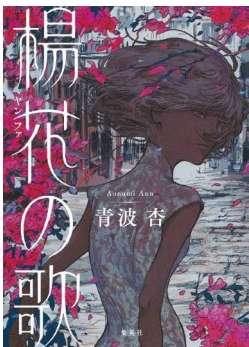
山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。

スマートフォンを一日中いじって最新情報にまみれている人にとって、約百年前の異国の話は自分のいる世界とはまったく別世界の出来事に思えるだろう。

当時が今と最も違うのは、デジタルという概念がないこと。しかし、本当はそれしか変わらないのではないかと思ったりもする。国際紛争や貧富格差は、今も世界各地で存在するし、衣食住の進歩はあれど当時から脈々と続いているものがやっぱりある。何より人間の行動心理は、世の中がどう便利になろうと何も変わらな。寂しさや郷愁や嫉妬心などからくる心と裏腹の行動一つとっても、令和の私たちと同じである。

今回紹介する小説『楊花の歌』は、1914年から1942年にわたって、数奇な運命に翻弄された2人の女性の物語だ。舞台は中国。それぞれ日本と台湾の出身だが、複雑な家庭環境と国家の陰謀に巻き込まれ、1940年代の中国で諜報部員とし



楊花の歌
青波 杏・著
(集英社)
1,760円(税込)

て過ごしている。2人は同棲中のカップルなのだが、ある大物の暗殺計画（実際の事件をモチーフ）をめくって、彼女たちを取り巻く人間関係が大きく変化していく。

その中で描かれる行動心理は、やはり現代の私たちそのものだ。もちろん現代の作家が書いた物語だからということはいえるかもしれないが、人間の感情に時代性はない。

もし、あの時代にあの場所に自分がいたら、やはり登場人物たちのように振舞っていたかもしれないと思う。

人形つかいパペの話

最小のキャバで
最高のエンタメを！
人形つかいパペの奮闘記。



人形つかいパペ(佐藤謙)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

日本で一番古い現代人形劇団での修業話の前に、私と人形との関わりについて話しておきましょう。

幼い頃から、人形あそびが大好きで、紙に絵を描いて切り抜き、紙人形で相撲をしたり、おもちゃの人形を動かして、アニメの一場面を再現したり。いつしか自分だけのお話を創っていました。母に聞いてみると、いつもブツブツと喋りながら人形を触っていたそうです。誰の目も意識しない、一人だけの壮大な時間でした。

私がかし違ったのは、それが高校生になるまで続いたこと。学校での出来事を、人形で再現したりしていました。奇異な目で見られるだろうと思ひ、友だちには言えませんでした。

他にも、シルバニアファミリーが欲しい、と親に伝えられませんでした。CMが流れてくるたびに心がときめき、あの「大きなお家」は憧れでした。高価そうだし、女の子のものだと思って、ねだれませんでした。



人形あそびを子どもたちと一緒にやるパペ。浜松市子育て情報センターにて。

大人になってから父に伝えると、全然気づかなかつたと驚かれました。シルバニアファミリーを初めて触ったのは、人形劇の道を歩み始めてから。34歳の誕生日にパートナーに買ってもらい、我が家に「大きなお家」が届きました。夢心地で遊び、いくつもの物語を描きました。特に熱中したのは、シェイクスピアの戯曲を人形たちに演じてもらうこと。戯曲は舞台で演じるために書かれたものなので、人形たちが動く、一層イメージが湧くのです。

不思議なことに、その2年後、シェイクスピア原作の「ハムレット」で俳優として参加し、さらに、舞台上で人形劇を披露することになったのです。

ハンケイ

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

5m

vol.7
発行にあたり

ハンケイ
5m
vol.7

2023年4月5日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社union.a
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子
山田梨世
呉玲奈
中山みゆき
鈴木穂乃
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

福祉を専門的に学ばなくても
身の回りの5mを見渡せば
多くのマイノリティに出会い
なすべき課題が見えてくる。
改めて教えてもらった。
円城新子(編集)

自分の中の「見えない壁」に
目を向けた時から、
可能性は広がっていく。
龍太郎(ライター)

人々の周りハンケイ5mの
いろんな重なりがようやく戻り、
楽しい春です。
森 華(デザイン)

可能性は誰しも無限大。
挑戦しない選択肢はない！
辻正美(カメラ)

いい音楽を聞くと、
自然とリズムを取り出し動き出しくなる。
意欲を掻き立てる音楽の力はすごい！
中山みゆき(編集)

今号の表紙も、
思わず手に取りたくなるかっこよさです。
偶然手にした誰かに、
何か新しい気付きがありますように。
山田梨世(編集)

昨今、AIの目覚ましい発展には驚くばかりです。
私たちが豊かに、人間らしく生きるために、
何が大切なのか？
この『ハンケイ5m』は、示唆を与えてくれます。
呉玲奈(編集)

京野さんの
「まずは知ること」との言葉。
心にとどめて、
周りを見つめなおそうと思います。
北原靖浩(デザイン)

なんとなく参加したポッチャ大会、
あまりに楽しかったので
次回が待ち遠しいです！！
鈴木穂乃(編集)

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



5/5(金)公開
それでも
私は生きていく

R15+ | Un Beau Matin |
2022 | 仏 | 112分
監督:ミア・ハンセン＝ラブ
出演:レア・セドゥ

<https://unfilm.com/soredemo/>

『未来よ こんにちは』(16)で、第66回ベルリン国際映画祭
銀熊(監督)賞を獲得し、フランス映画界を代表する存在と
なったミア・ハンセン＝ラブ監督の最新作は、自身の父親が
病を患っていたなかで脚本を書いた自伝的作品。父の病に
対する“悲しみ”と、新しい恋の始まりに対する“喜び”という正
反対の状況に直面するシングルマザーの心の揺れを、レア・
セドゥが繊細に演じている。

上映情報のご確認はこちら
京都シネマ www.kyotocinema.jp
📍京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON 烏丸3F ☎075-353-4723

京都みなみ会館おすすめ映画



4/7(金)公開
ベイビーわるきゅーれ
2ベイビー

2023 | 日 | 101分 |
監督:阪元裕吾
出演:高石あかり、伊澤彩織、
中井友望、飛永翼

© 2023「ベイビーわるきゅーれ2」製作委
員会

漫画から飛び出たような個性豊かなキャラクターたちが奏でる
オフビートな笑いと本格アクションが国内外の映画祭で絶賛さ
れた、殺し屋女子2人組のアクション映画がさらにパワーアップ
して帰ってくる！ 殺しの腕はピカイチだがジムの会費、教習所
代などの出費に頭を悩ませるちさとまひろ。同じくお金の悩み
を抱える殺し屋協会アルバイトのゆうり・まこと兄弟は、正規ク
ルーである二人のポストを奪う為、彼女たちに狙いを定める。

上映情報のご確認はこちら
京都みなみ会館 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>
📍京都市南区西九条川原城町110 ☎075-661-3993

フリーマガジン 自分たちの足で見つけた、オリジナルな情報。本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン。

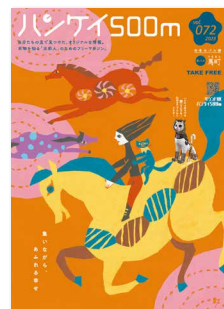
ハンケイ500m

昔から京都の本物を支えてきたのは、伝統的な職人の技。そんな京都の土壌における「職人」
というキーワードに着目し、独自の哲学・こだわりを持った現代の「職人」を、ひとつのバス停から
半径500mに限定して、じっくり探索。そこで再発見した「京都らしさ」を、皆様にお届けします！

京都市地下鉄全駅、京都市内各所にて絶賛配布中！

バックナンバーは www.hankei500.com

毎奇数月 10日発行



ハンケイ500m公式Twitter
@hankei500

ラジオ 『ハンケイ500m』のこぼれ話が聴けるラジオ。

ハンケイ500m × KBS京都Radio

サウンド版 ハンケイ500m

KBS京都Radio
FM 94.9
AM 1143

『ハンケイ500m』がラジオ番組になって、オンエア中！ パーソナ
リティはサウンドロゴクリエイターの原田博行さんと、円城新子編
集長。耳で聞く「あるバス停から『ハンケイ500m』の物語」は、雑誌
とはまた別のおもしろさがあります。ポッドキャストでも聞けますよ！

▶▶▶ PodcastでMP3をダウンロード ▶▶▶
▶▶▶ radikoまたはラジオで聴く
KBS京都ラジオ 毎週土曜17:00～18:00



フリーマガジン 『ハンケイ500m』がつくる就職情報誌。

おっちゃんとおばちゃん



年4回発行(5月、8月、11月、2月) / A
4変形判 / オールカラー / 関西一円
の大学、ハローワーク、その他で配布



おっちゃんとおばちゃん 検索
<https://occhan-obachan.com>

若者向けの就職情報誌『おっちゃんとおばちゃん』。「いい人材に
出会えた」と好評をいただいています。その理由は、『ハンケイ500
m』のノウハウを駆使した、掲載企業の徹底取材にあります。大学
生や求職中の若者が「本気で人生を賭けたい」と、心に響く誌面
づくりをしています。得てして、自社の魅力は、経営者ご自身はわかっ
ていないもの。社長の仕事観、社員の実感値。企業が目指すビジョ
ンを、今どきの若者に刺さる言葉に変換して伝えます。取材を通じ、
自社の強みを再発見したという採用担当者の声も寄せられます。

WEB 京都に根差した情報誌×新聞社による新しいWEBメディア。

ハンケイ500m × 京都新聞

ハンケイ京都新聞



HANKEI 5M OFFICIAL SUPPORTER

私達がハンケイ5mを応援しています！

KPC

京都ではたくさんの人に
ライブな福利厚生を提案しています。
(公財)京都中小企業振興センター
www.kpc.or.jp

ハンケイ5m
設置・サポーター募集について

『ハンケイ5m』をもっと
多くの方に手に取って
いただけるよう、新規設置場
所を随時募集しています。
また、『ハンケイ5m』の価
値観に賛同してくださるサ
ポーター企業様・団体様
を募集しています。(一口
5万円～)お問い合わせ
は、info@hankei500.com まで。



